## 調剤ミス(アクシデント・インシデント)発生時の報告書提出フローチャート 調剤ミス発覚 投薬前に発覚 投薬後に発覚 (監査時、投薬時・服薬指導時に発覚) (患者さん、Drから指摘または、薬歴から) 投薬後に健康被害(アクシデント) 「インシデント報告書」を作成 広域病院の場合 その他の病院・診療所 があった場合は第一報として、 西部支部事務局(0859-38-5757) ①患者・家族へ報告 へ電話連絡してください。 アクシデント報告書の「患者の状 ②各広域病院第一連絡先 医療安全委員会へ報告書を提出 況」までを記載して速やかにFAX提 へ報告。 出をお願いします。 (広域病院院外処方箋応 ②主治医に報告 定期的に集計・分析して改善策を検討 需留意事項を参照のこと) 訴訟となるような緊急を要する場合 指示により主治医と相談 は県薬への連絡が必要となります ので、 |投薬前に監査で防げた場合のインシデント事例報告| ③西部支部事務局(0859-38-5757)へ電話 医療安全委員長 平木先生 書は、定期的に各薬局で集計・分析してミスの傾向や +アクシデントの場合は一部FAX (後藤ヶ丘薬局 0859-21-8114) 対応策等を検討して下さい。 まで電話連絡して下さい。 ④健康被害あり→「アクシデント報告書」を作成 医療安全委員会が個人情報を除いて集計・公表しま 健康被害なし→「インシデント報告書」を作成 す。 ⑤ 医療機関・医療安全委員会へ報告書を提出 医療安全委員会への報告はFAX後にExcel形式に

※広域病院の場合には、第一報を電話で行った後に、必ず薬剤部宛に「アクシデント・インシデント報告書(病院提出用)」を提出して下さい。

- ※広域病院以外の病院・診療所への報告及び報告書提出につきましては、それぞれの医療機関の指示に従って下さい。
- ※投薬前に監査で防げた場合のインシデント事例でも、共有する事が有用と思われる場合は、自主的に報告して下さい。

鳥取県薬剤師会西部支部 医療安全委員会 FAX: (0859) 38-5758 メール: seibu@hal.ne.jp

※Excelファイル: 県薬HP>会員ページ>西部 医療安全委員会

## 用語の定義

てデータをメールする

インシデント…患者さんに健康被害がなかった場合(規格違い・内服前・処置等なし) アクシデント…患者さんに健康被害があった場合(処置や入院・明らかな副作用あり)